

おとうふ工房いしかわの 月刊 まめぞう 新聞

2019
皐月号

二十四節気

立夏 5月6日

次第に夏めいてくる頃

小満 5月21日

生命が満ち満ちていく頃

つやつやの
ソウマメ
いかが?

三河の住人にとって初夏の味覚といえば、やっぱりアサリです。酒蒸しやわけぎとの酢味噌和えなんかは、最高の肴になります。普段の食事では味噌汁が一番です。昔からアサリが出回ると豆腐と油揚げが売れなくなるというほどです。豆腐屋の商売敵みたいなものですね。このアサリの旨味は、コハク酸です。普通の家庭ではしませんが、プロの料理人は出汁昆布を入れたあわせだしにします。これは、昆布のグルタミン酸との相乗効果で8倍の旨味になるといわれるからです。イタリアンでは、アサリなどの貝類とトマトを一緒に使うと美味しくなるのは、トマトには昆布と同じグルタミン酸が沢山含まれているからなんです。トマトとアサリの味噌汁も美味しいかも？

あさりの旨味をドレッシングにも使って 空豆とあさりのクレソンサラダ

材料 (1人分)

空豆…10個
あさり…10個
葉野菜(レタス・クレソンなど)
合わせて…100g
白ワイン…大さじ1
オリーブオイル…小さじ2
粗挽き胡椒…少々

作り方

- ①レタスとクレソンを食べやすく切る。
- ②空豆をさやから出して、薄皮ごと茹でる。
- ③あさを鍋に入れ、白ワインをふり、フタをして殻が開くまで加熱する。あさは取り出し、残りの汁にオリーブオイルと胡椒を加え、ドレッシングを作る。
- ④空豆とあさは手で崩し、全ての食材を器に盛りつけ、ドレッシングを和えれば完成。

Let's
Cooking!



本練豆腐と
一緒に煮だしも
美味しいよ



知恵袋

アサリの 砂抜きの方法

潮干狩りで楽しんだ後のアサリは、そのままでは食べられません。アサリの体内の砂を抜くことが大事です。海水と同じ温度の塩水3% (水500ccに大さじ1杯の塩) につけて3~6時間程度、新聞紙で暗くしておくで勝手に吐き出します。暗くするのは夜行性で普段穴の中の暗いほうが元気に活動するからです。(誰かみたいです?)



初夏の旨味は 海から。

初夏の野菜の浅漬け風 冷やっこ

作り方 キュウリ、ミョウガ、しょうが、セロリ、大葉、カイワレ大根、山芋などお好みの野菜を細かく刻み、添付のタレ2種類と混ぜ、冷蔵庫で1時間ほど休ませる。これだけで抜群においしい冷やっこのトッピングの完成!



みんな大好きな桃屋の海苔佃煮。「江戸むらさき」よりも塩分が低く、かつおと帆立の旨味が効いた味は、大人気。原料の海苔は国産で主に伊勢湾産です。これと当社オリジナルの天然だしのタレを組み合わせた「海苔だし冷やっこ」が新発売しました。ご家庭でちょっと手を加えればもっと美味しくお召し上がりいただけます。

海苔も海からです。

新玉ねぎを薄くスライスし、田子節とさつと和えます。冷奴の上になっぷりのせ、お醤油とごま油をかけていただきます。旬の美味しさが詰まった絶品アレンジやっこの完成です。



おすすめ! 新玉ねぎと田子節の冷奴



初鯉 来たる!

5月になると北上する鯉を初鯉と呼びます。この鯉は、未だ脂が乗っておらず、いわゆるたたきや刺身で食ってもそんなにおいしくありません。秋の戻り鯉が、生食用です。この初鯉は、脂が少なく気温が高い時期なので伝統的な製法の天日干しの鯉節に向いていました。意外に知られていないことですが、鯉節(枯れ節)とは、カビ付けしたものをいいます。花かつおはカビ付けをしていない鯉荒節を削ったものです。旨味が強いのが前者です。高級な出汁をとるときに使い、後者はお豆腐に掛けたり日常的な出汁取りに使います。今回は、実際に工場までうかがって西伊豆田子の老舗鯉節屋カネサさんから本当に美味しい鯉節を分けてもらいました。是非、冷やっこに掛けたいお召し上がりください。びっくりするほどやっこの美味しくなります。

レストラン

月替わり
5/4
より

五月風薫る

おとうふデリ

【おとうふバー付】1080円

5月のおとうふデリは「海からの旨味」をふんだんに使って作りました。初夏の味覚アサリは生揚げとキャベツと一緒にオイル蒸しに。新玉ねぎを使ったサラダは花かつおをたっぷりかけてすだちたまりです。サッパリいただきます。旬の味覚が詰まった爽やかな「五月風薫るデリ」お楽しみに。



このほか、まめぞうレストランでは4月から新メニューがスタートしています。是非お店に足を運んでみてくださいね。

端午の節句 葉っぱの小話

5月5日は、子どもの日。こいのぼりを飾る、菖蒲湯に入るなど過ごし方は様々あります。中でも食べる行為はみんな大好き。定番の柏餅に使われている葉っぱは波型が特徴的です。それが、私の家では丸い葉っぱでした。どうやら、かしわの葉が手に入りづらい地域もあり、特に西日本はサルトリイバラという植物の葉を用いるようです。祖母の家では、近くに自生している通称「だんごの葉っぱ」と呼んでいます。地域によって、育つ植物が違うのは当たり前のこと。それが地域食になり、各地の個性になる。そんなことを感じながら今年も餅をほおばりたいと思います。



吉浜の花の塔 5月11日

お釈迦様の誕生日「4月8日」を祝う花の塔というお祭りがあります。通称「おためし」といわれ熱田神宮豊年祭之図でその年の豊作を占う行事です。町内になかなかシニールな等身大の細工人形が設置され、お釈迦様に乗っていたという謂れから白い象を子ども達が引きまわすパレードもあります。高浜名物「こりめし」発祥の地を訪ねてみませんか。



おとうふ工房いしかわ 大創業祭

4月26日(金)~5月6日(月)

日頃の感謝を込めて、1年で一番オトクな超お値打ち価格で大奉仕!!
ハズレ無しのスピードくじ大会も!

詳しくは裏面に

